

2021年11月14日 聖日礼拝

インターネットの礼拝映像配信は9時より。11時からは録画を視聴できます。

11月14日 聖日礼拝

前 奏

招 詞 ハバクク書 2章 20節

「主は、その聖なる宮におられる。全地よ、主の御前に静まれ。」

アーメン

会衆賛美 聖歌 28 (1, 2節)

会衆賛美 御手の中で (1節)

主の祈り

交 読 詩篇 127 篇 1～5節

礼拝祈祷

使徒信条

聖書朗読 マタイの福音書 17章

説 教 その子をつれてきなさい 1～20節

会衆賛美 聖歌 518 (1, 2節)

献 金 荻野泰弘牧師

頌 栄 聖歌 376

祝 祷

報告

後 奏 感謝祈祷

■聖歌 28 「わかくさのまきばより」

①わかくさの まきばより 花さく 森より
うるわしき つくりぬし われ 歌いまつらん

②空に照る ひかりより よぞらの月より
照りわたる 救いぬし われ たたえまつらん

■御手の中で (1節)

①御手の中で すべては変わる賛美に
わがゆく道を 導きたまえ あなたの御手の中で

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用の糧を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを ころみにあわせず 悪より救いだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇 127 篇 1～5 節

- 1 主が家を建てるのでなければ
建てる者の働きはむなしい。
主が町を守るのでなければ
守る者の見張りはむなしい。
- 2 あなたがたが早く起き 遅く休み
労苦の糧（かて）を食べたとしても それはむなしい。
実に 主は愛する者に眠りを与えてくださる。
- 3 見よ 子どもたちは主の賜物
胎（たい）の実は報酬。
- 4 若いときの子どもたちは
実に 勇士の手にある矢のようだ。
- 5 幸いなことよ 矢筒（やづつ）をその矢で満たしている人は。
彼らは門で敵と論じるとき 恥（はじ）を見ることがない。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 マタイの福音書 17 章 1～20 節

- 1 それから六日目に、イエスはペテロとヤコブとその兄弟ヨハネだけを連れて、高い山に登られた。
- 2 すると、弟子たちの目の前でその御姿が変わった。顔は太陽のように輝き、衣は光のように白くなった。
- 3 そして、見よ、モーセとエリヤが彼らの前に現れて、イエスと語り合っていた。
- 4 そこでペテロがイエスに言った。「主よ、私たちがここにいることはすばらしいことです。よろしければ、私がここに幕屋を三つ造ります。あなたのために一つ、モーセのために一つ、エリヤのために一つ。」

- 5 彼がまだ話している間に、見よ、光り輝く雲が彼らをおおった。すると見よ、雲の中から「これはわたしの愛する子。わたしはこれを喜ぶ。彼の言うことを聞け」という声がした。
- 6 弟子たちはこれを聞いて、ひれ伏した。そして非常に恐れた。
- 7 するとイエスが近づいて彼らに触れ、「起きなさい。恐れることはない」と言われた。
- 8 彼らが目を上げると、イエス一人のほかには、だれも見えなかった。
- 9 彼らが山を下るとき、イエスは彼らに命じられた。「あなたがたが見たことを、だれにも話してはいけません。人の子が死人の中からよみがえるまでは。」
- 10 すると、弟子たちはイエスに尋ねた。「そうすると、まずエリヤが来るはずだと律法学者たちが言っているのは、どういうことなのか。」
- 11 イエスは答えられた。「エリヤが来て、すべてを立て直します。
- 12 しかし、わたしはあなたがたに言います。エリヤはすでに来たのです。ところが人々はエリヤを認めず、彼に対して好き勝手なことをしました。同じように人の子も、人々から苦しみを受けることになります。」
- 13 そのとき弟子たちは、イエスが自分たちに言われたのは、バプテスマのヨハネのことだと気づいた。
- 14 彼らが群衆のところに行くと、一人の人がイエスに近寄って来て御前にひざまずき、
- 15 こう言った。「主よ、私の息子をあわれんでください。てんかんで、たいへん苦しんでいます。何度も火の中に倒れ、また何度も水の中に倒れました。
- 16 そこで、息子をあなたのお弟子たちのところに連れて来たのですが、治すことができませんでした。」
- 17 イエスは答えられた。「ああ、不信仰な曲がった時代だ。いつまであなたがたと一緒にいなければならないのか。いつまであなたがたに我慢しなければならないのか。その子をわたしのところに連れて来なさい。」
- 18 そして、イエスがその子をお叱りになると悪霊は出て行き、すぐにその子は癒やされた。
- 19 それから、弟子たちはそっとイエスのもとに来て言った。「なぜ私たちは悪霊を追い出せなかったのですか。」
- 20 イエスは言われた。「あなたがたの信仰が薄いからです。まことに、あなたがたに言います。もし、からし種ほどの信仰があるなら、この山に『ここからあそこに移れ』と言えば移ります。あなたがたにできないことは何もありません。」

■聖歌 5 1 8 「みことばなる」(1, 2 節)

① みことばなる 光のうち 主と ともに 歩まば
ゆく 道すじ 照らしたまわん より頼む われらに

※げに 主は より たのみて したごう ものを 恵みたまわん

② み顔の^え笑み かがやく時 雲 霧は 消えゆき
疑いなく うれいもなし より頼む われらに

■頌栄 聖歌 3 7 6 「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず
^{みきかえ}御栄えあれ ^{みきかえ}御栄えあれ アーメン

【自宅での礼拝の手引き】

- ・招詞 招詞を読みます
- ・賛美 歌います
- ・主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・交読 交読箇所を読みます
- ・礼拝祈祷 次の言葉を祈りましょう
「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心を一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」
- ・使徒信条 使徒信条を告白します
- ・聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- ・賛美 歌います
- ・献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげながら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・頌栄 頌栄をささげます
- ・祝祷 心の中で祝祷を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう
「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上に とこしえにありますように アーメン」